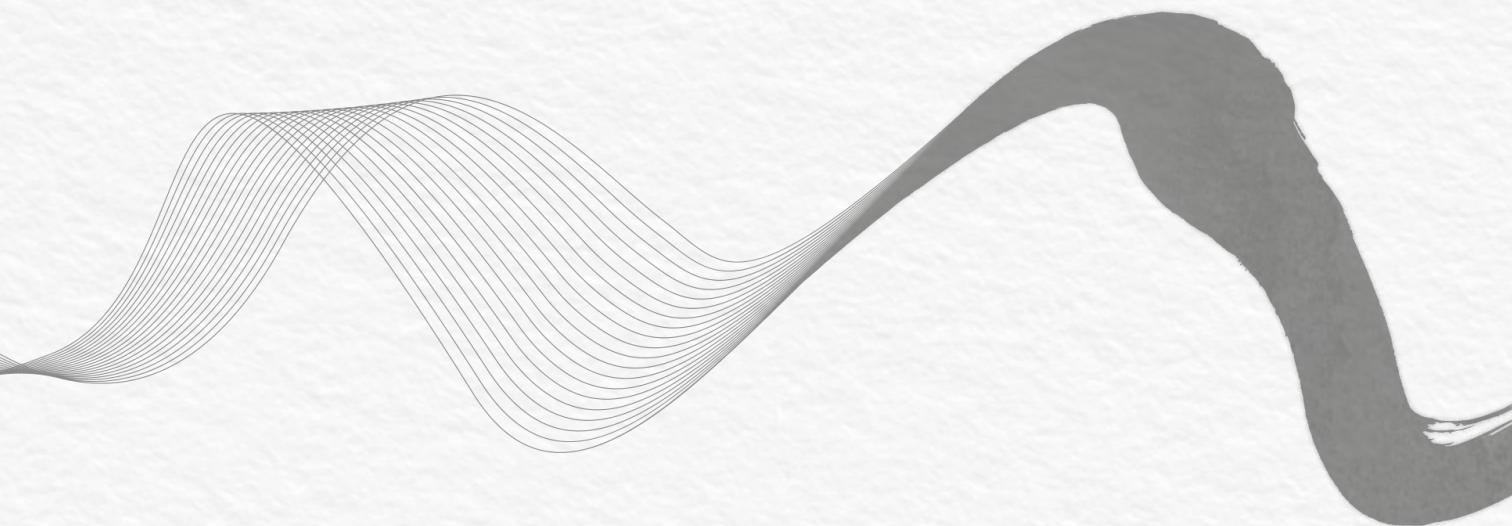




第48期 第2四半期報告書

2023.7.1 >>>> 2023.12.31



 朝日インテック株式会社

証券コード:7747

中期経営計画『ASAHI Going Beyond 1000』 に基づく成長戦略を着実に進め、 企業価値の拡大を目指してまいります。

代表取締役社長

原田 昌彦



■ 市場の回復・拡大や為替影響、市場ニーズの増加などにより、主に海外売上高が大幅に増加し、増収となりました。

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなくなったことによる市場の回復・拡大や外貨高の影響、市場ニーズの増加、代理店からの受注の集中などにより、主に海外売上高が大幅に増加し、売上高は543億41百万円(前年同期比19.6%増)となりました。

メディカル事業につきましては、国内市場でPCIガイドワイヤーを中心に循環器領域が堅調に推移したことに加え、非循環器領域における消化器系製品やOEM取引の増加により、売上高が増加しました。海外市場においても、循環器領域および非循環

器領域ともに全地域で売上高が増加しました。循環器領域は、PCIガイドワイヤー・貫通カテーテルを中心に、全地域にて好調に推移しています。欧州(東欧)や中国市場の代理店などからの集中した受注がありましたが、当該取引を除いても全地域にて増加しました。非循環器領域では、中国市場の全領域における増加に加え、米国市場での末梢血管系製品の新品「CROSSLEAD」「CROSSWALK」の効果により、売上高が増加しました。OEM取引は、米国市場における循環器領域の新規取引の増加などにより好調に推移しました。その結果、売上高は483億69百万円(同21.9%増)となりました。

デバイス事業は、医療部材を中心に売上高が増加しています。医療部材については、国内市場における

ロボティクス関係や内視鏡関連部材の増加に加え、海外市場においても米国企業向け循環器系超音波カテーテル部材の取引が増加しました。その結果、売上高は59億72百万円(同4.0%増)となりました。

■ 海外市場を中心とした販促活動費用や連動費用などが増加したものの、増益となりました。

営業利益は、海外市場を中心とした販促活動費用や売上増加に伴う連動費用などの営業関係費用の増加や開発強化のための研究開発費の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、134億98百万円(同35.6%増)となりました。

経常利益は、雑収入の増加や為替差損の減少などにより、134億71百万円(同40.0%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、災害保険金の減少がありましたが、98億20百万円(同31.4%増)となりました。

■ 中長期にわたって確実に成果を上げ、事業の持続可能性を高めるサステナブル経営を実践していきます。

現在、当社グループは2026年6月期を最終とする中期経営計画『ASAHI Going Beyond 1000』を推進しております。連結売上高1,000億円を超えて、さらに成長するための事業ポートフォリオの構築として、非循環器領域の海外販売の強化、ロボティクスなどの新たな事業領域への積極的な展開などを進め、中長期的な企業価値の拡大を目指しております。

当第2四半期連結累計期間では、ケニアのエルドレット病院との合併により、カテーテル検査・治療の専門病院を設立することを決定いたしました。この取り組みを機に、アフリカ地域でのカテーテル治療の普及を進めるとともに、既存インフラや規制の制約を受けづらく、先端技術の普及が見込めるケニア地域の特性を活かして、ロボティクスや遠隔治療などを含むイノベーションを推進していきます。

また、当社100%連結子会社である朝日サージカルロボティクス株式会社が開発した外科手術支援ロボット「ANSUR(アンサー)」の1号機を国立がん研究センター東病院に納入することができました。今後さらなる販路拡大を目指してまいります。

なお、当社は、昨年度に引き続き「統合報告書2023」(日・英)を発行しました。本統合報告書でもお伝えしておりますとおり、当社の果たすべき使命は、数多くのお客様とのお取引を通じて培った技術力・対応力を活かして、医療機器分野・産業機器分野の両方のお客様の課題を解決していくことにあります。当社は、社会の一員として社会問題や環境問題に対しても正面から向き合っており、取り組みを進め、一方で経済活動においても中長期にわたって確実に成果を上げていくことで、事業の持続可能性を高めるサステナブル経営を実践していきます。

2024年3月

ケニア エルドレット病院との合併による カテーテル専門病院の設立について

当社とケニアのELDORET HOSPITAL LTD (以下エルドレット病院)は、合併会社ELDORET HOSPITAL-ASAHI INTECC HEART CENTREを設立し、カテーテル検査・治療の専門病院を開設・運用いたします。エルドレット病院が位置するケニア西部には現在、カテーテル検査や治療が可能な施設は極めて少なく、多くの方々が検査や治療を受けられない状況です。当社とエルドレット病院が共同でカテーテル室を開設・運営することで、多くの患者様を救うことが可能になるとの考えから、今回の提携に至りました。

本施設では、当社のKOL^{※1}のネットワークを通じて、日本のドクターを紹介し、現地医療従事者に対してCTO^{※2}治療などの困難な手技も含めたトレーニングを行うなど、医療環境の向上にも努めてまいります。

当社は、既存インフラや規制の制約を受けづらく、先端技術が一気に普及しやすいケニア地域の土壌を活かして、ロボティクスや遠隔治療などの次世代スマート治療を含むイノベーションにもつなげていきます。この合併事業を皮切りに、アフリカ地域でのカテーテル治療の普及を進めてまいります。

※1 KOL:Key Opinion Leaderの略。医療業界で多方面に影響力を持つ医師のことを指します。

※2 CTO:Chronic Total Occlusion 慢性完全閉塞の略。血管内が完全に詰まったまま、長期にわたり放置された病変であり、カテーテルを使用した治療の中でも非常に難易度が高い治療になります。

合併会社の概要

名称	ELDORET HOSPITAL-ASAHI INTECC HEART CENTRE
所在地	Makasembo Road, Eldoret, Kenya
代表者	Prabhudas V. Lodhia
事業内容	カテーテル検査・治療の専門病院の運営
出資比率	朝日インテック株式会社(当社)…45% ELDORET HOSPITAL LTD…55%



エルドレット病院とスタッフ

「Forbes JAPAN HEALTHCARE CREATION AWARD 2023」で 朝日サージカルロボティクスがグランプリを受賞

当社100%連結子会社である朝日サージカルロボティクス株式会社が、Forbes JAPANが主催する「HEALTHCARE CREATION AWARD 2023」にてグランプリを受賞しました。「HEALTHCARE CREATION AWARD」は、ヘルスケア領域における最新テクノロジーやインフラ、プロダクト、取り組みに注目し、これからの日本のヘルスケアをリードする企業や人物・取り組みに光を当てるアワードです。

この度、同社が開発した外科手術支援ロボット「ANSUR」は、海外製品が主力のロボット市場の中で国内の医療スタート

アップの成功事例であることや、手術部位や機器の移動のしやすさなどの差別化を図っている点などが評価され、今回の受賞につながりました。

「ANSUR」は、術者をサポートする助手の機能に特化しており、低コストを実現するとともに、医師の働き方改革の対応策としても、期待されています。2023年11月には国立がん研究センター東病院に1号機が導入・使用されており、今後さらなる販路の拡大を目指してまいります。



「HEALTHCARE CREATION AWARD 2023」グランプリ授賞式にて

外科手術支援ロボット「ANSUR」

「統合報告書2023」を発行

財務情報と非財務情報を統合し、企業の全体像を伝える統合報告書の注目度が高まっています。そうした背景を受け、当社は昨年度から日本語版・英語版の統合報告書を発行しています。

「統合報告書2023」では、サステナブル経営の実現に向けた経営上の重要課題と経営戦略をはじめ、人的資本などの非財務情報、機関投資家と社外取締役の対談、製造資本をテーマとする社内対談など、今後の成長に向けた取り組みやESG関連のコンテンツを充実させ、情報開示のさらなる拡充を図りました。

当社グループの持続的な企業価値向上に向けた取り組みへのご理解をより深めていただく一助となる統合報告書を、ぜひご覧ください。

▼「統合報告書2023」はこちらをご覧ください。(2024年3月時点)

<日本語版> http://www.asahi-intecc.co.jp/esg/asahi-intecc_integrated-report_2023.pdf

<英語版> http://asahi-intecc.co.jp/en/esg/Asahi-Intecc_Integrated_Report_2023.pdf



日本語版



英語版



社長・投資家対談



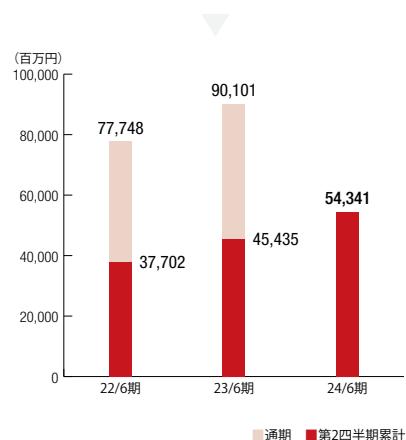
将来ビジョン

連結財務データ

売上高

売上高 前年同期比 **19.6%増**

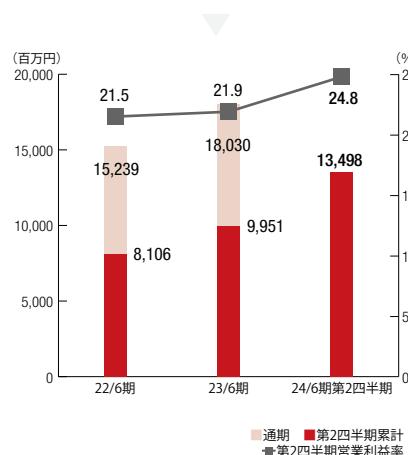
新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなくなったことによる市場の回復・拡大や外貨高の影響、市場ニーズの増加、代理店からの受注の集中などにより、主に海外売上高が好調に推移し、増収となりました。



営業利益／営業利益率

営業利益 同 **35.6%増**

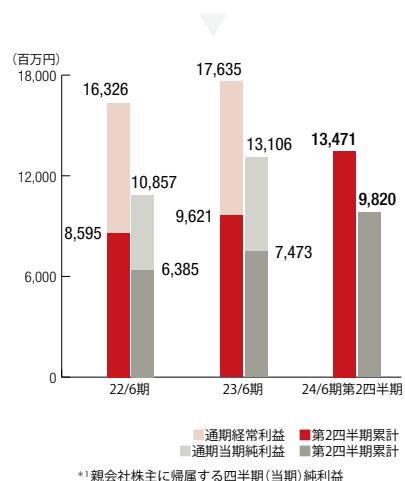
海外市場を中心とした販促活動費用や売上増加に伴う連動費用など営業関係費用の増加、開発強化のための研究開発費の増加により、販売費及び一般管理費が増加したものの、増益となりました。



経常利益／四半期(当期)純利益*1

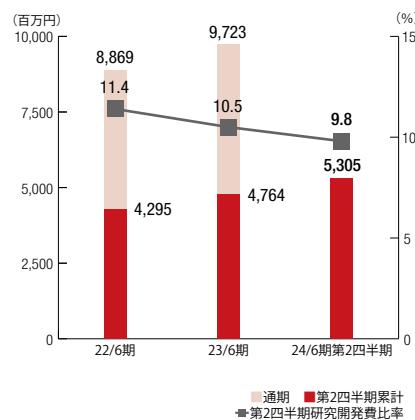
経常利益 同**40.0%増** 四半期純利益 同**31.4%増**

経常利益は、雑収入の増加や為替差損の減少などにより増益となりました。親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益は、災害保険金の減少がありましたが、増益となりました。

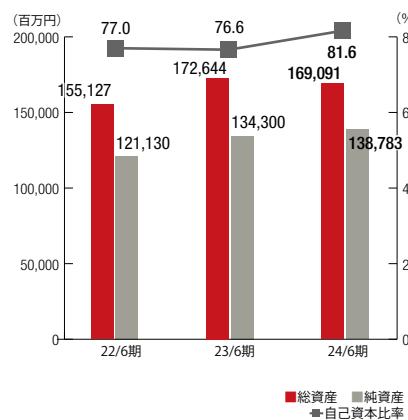


*1 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

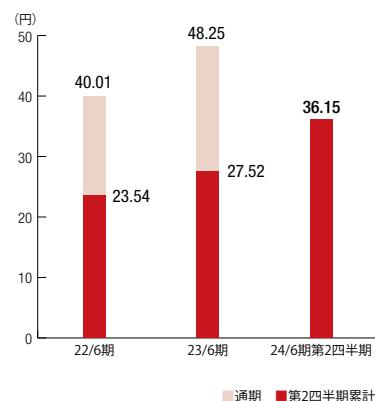
研究開発費／研究開発費比率



総資産／純資産／自己資本比率



1株当たり四半期(当期)純利益



会社情報／株式情報 (2023年12月31日)

会社概要

商号 朝日インテック株式会社 (ASAHI INTECC CO., LTD.)

設立 1976(昭和51)年7月8日

資本金 188億6,079万円

従業員数 連結9,780名／単体1,036名

上場証券取引所 東京証券取引所(プライム市場) 名古屋証券取引所(プレミアム市場)

主な事業内容 ①主に血管内治療に使用される低侵襲治療製品(ガイドワイヤー・カテーテル)の開発・製造・販売
②医療機器分野および産業機器分野の部材等の開発・製造・販売

役員

代表取締役社長…………… 宮田 昌彦
代表取締役副社長…………… 宮田 憲次
専務取締役…………… 加藤 忠和
常務取締役…………… 松本 宗近
取締役…………… 寺井 芳徳
取締役…………… 伊藤 瑞穂
取締役…………… 西内 誠
社外取締役…………… 伊藤 清道
社外取締役…………… 草刈 貴弘
社外取締役…………… 田口 晶弘
社外取締役(監査等委員)…………… 富田 隆司
社外取締役(監査等委員)…………… 花野 康成
社外取締役(監査等委員)…………… 深谷 玲子

株式情報

発行可能株式総数 800,000,000 株

発行済株式の総数 271,633,600株(自己株式7,955株を含む)

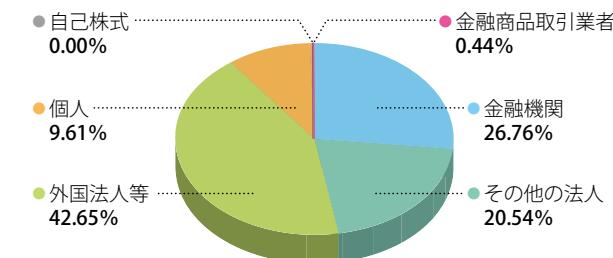
株主数 13,397名

大株主

株主名	持株数(数)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	35,960,300	13.23
ボウエンホールディングス(株)	23,084,032	8.49
(株)日本カストディ銀行(信託口)	18,943,900	6.97
JP MORGAN CHASE BANK 385632	12,355,620	4.54
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	8,483,380	3.12
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140041	8,164,629	3.00
(株)ハイレックスコーポレーション	8,100,000	2.98
アイシーエスピー(有)	7,200,000	2.65
宮田 昌彦	5,815,500	2.14
宮田 憲次	5,268,400	1.93

(注)持株比率は、自己株式(7,955株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



事業所 (2023年12月31日現在)

国内事業所

本社/メディカル事業統括本部	グローバル本社・R&Dセンター……………愛知県瀬戸市
	東京R&Dセンター……………東京都大田区
デバイス事業統括本部	大阪R&Dセンター……………大阪府和泉市
	静岡R&Dセンター……………静岡県袋井市
	東北R&Dセンター……………青森県八戸市
	東北R&Dセンター 十和田事業所…青森県十和田市
サテライトオフィス	名古屋オフィス……………愛知県名古屋市
	新宿オフィス……………東京都新宿区
営業拠点	東京……………東京都新宿区
	大阪……………大阪府和泉市

海外事業所

中東支店……………アラブ首長国連邦 ドバイ	シンガポール支店……………シンガポールケッセンタワー
香港支店……………中国 香港	インド支店……………インドムンバイ
韓国支店……………韓国 ソウル(特別)市	台湾支店……………台湾 新北市
タイ支店……………タイ バンコク	

連結子会社

ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD. ……………タイ パトゥムタニ県	ASAHI INTECC HANOI CO., LTD. ……………ベトナム ハノイ市
ASAHI INTECC USA, INC. ……………米国 カリフォルニア州	朝日英達科貿(北京)有限公司……………中国 北京市
朝日インテックJセールス株式会社……………東京都港区	フィルムメック株式会社……………愛知県名古屋市
TOYOFLEX CEBU CORPORATION……………フィリピン セブ州	ASAHI INTECC LATIN PROMOCAO DE VENDAS E COMERCIO
DE PRODUTOS CIRURGICOS LTDA. ……………ブラジル サンパウロ州	ASAHI Medical Technologies, Inc. ……………米国 カリフォルニア州
ASAHI INTECC CIS LLC……………ロシア連邦 モスクワ州	ASAHI INTECC EUROPE B.V. ……………オランダ アムステルダム
ASAHI INTECC Deutschland GmbH……………ドイツ フランクフルト	Filmec USA, Inc. ……………米国 カリフォルニア州
朝日サージカルロボティクス株式会社……………千葉県柏市	KARDIA S.R.L. ……………イタリア ミラノ
Rev.1 Engineering, Inc. ……………米国 カリフォルニア州	Pathways Medical Corporation……………米国 カリフォルニア州

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
公告方法	当社ホームページ http://www.asahi-intecc.co.jp/ に 掲載します。 但し、やむを得ない事由により電子公告を することができない場合は、日本経済新聞 に掲載します。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒489-0071 愛知県瀬戸市暁町3番地100 Tel:0561-48-5551(代) Fax:0561-48-5552

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>